記事
Hiroshi Sato · 2021年11月11日 1m read

ODBCのクエリタイムアウトを回避する方法

これは InterSystems FAQ サイトの記事です。

タイムアウトを無効にするためには、DSNの設定でクエリタイムアウト無効に設定します。

Windowsコントロールパネル > [管理ツール] > [データソース（ODBC）] > [システムDSN]の構成

で クエリタイムアウト無効 にチェックを入れますと、タイムアウトは無効になります。

アプリケーション側で変更する場合は、ODBC APIレベルで設定することが可能です。

ODBCのSQLSetStmtAttr関数をコールする際に、SQLATTRQUERYTIMEOUT属性を設定してから、データソースに接続してください。

#ODBC #SQL #ヒントとコツ #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/odbc%E3%81%AE%E3%82%AF%E3%82%A8%E3%83%AA%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%A0%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%83%88%E3%82%92%E5%9B%9E%E9%81%BF%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95